



# 国民春闘共闘

第 14 号

2017 年 3 月 10 日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館  
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

2017 年国民春闘

## 17 春闘をたたかい抜こう

春闘山場となる 15 日の集中回答指定日、翌日の全国統一行動日を前に、国民春闘共闘・全労連・東京春闘共闘は、共謀罪創設許すな、安倍暴走政治ストップ、賃金の大幅引き上げ・底上げ実現、労働法制の大改悪反対の諸要求を掲げて「労働者総決起 3.8 中央行動」に取り組みました。日比谷野外音楽堂での労働者総決起集会・国会請願デモを中心に、前後して、集会、宣伝行動、省庁・業界団体・議員要請、パレードなど各産別・共闘組織、部会などが終日にわたり多彩な行動を展開しました。

### 17 春闘勝利！3・8 労働者総決起集会に 2300 人

天気にもぐまれる中、正午過ぎから「17 春闘勝利！安倍暴走政治ストップ、賃金引き上げ・底上げ実現、労働法制の大改悪反対 3・8 労働者総決起集会」が日比谷野外音楽堂で開催され、全国から 2300 人の仲間が結集しました。



主催者を代表して、国民春闘共闘・小田川義和代表幹事（全労連議長）があいさつ。「森友学園事件に象徴されるように、安倍政権は根っこから腐敗しきっている。それと同時に、自衛隊を戦場に送り、“戦闘”を“衝突”と言い張るいのち軽視の政治でもある。」と批判。長時間労働の規制を言いながら、「月 100 時間、2 か月平均 80 時間」と過労死認定基準まで働かせる過労死

容認の労働時間規制緩和をしようとしている政府・財界に対して、職場からの反撃を呼びかけました。「アベノミクスの労働者への弊害が明らかになっている中で、官と民、正規と非正規の共同のたたかいで、賃金の大幅引き上げを勝ち取り、年収 150 万円に届かない最低賃金を引き上げ、今すぐ時給 1000 円以上の実現を迫っていこう」と訴えました。

つづいて、JAL 不当解雇撤回争議、労働法制改悪阻止などのたたかいで共同をすすめる全国労働組合協議会（全労協）の金澤壽議長が、「全労協も昨年11月で権利春闘全国実行委員会を結成し春闘準備を重ね、2月の経団連前集会からスタートさせた。働き方改革検討会議では、政府・財界が連合を巻き込んで生産性向上のための議論がおこなわれている。まるで戦前の産業報国会運動のようだ。20代、30代の労働者は結婚できない、夢すら見えない状況。17春闘は自らの課題と反動攻勢に対抗する我々のたたかいにしよう。」と連帯あいさつ。



さらに、全国港湾からも連帯メッセージが寄せられました。

続いて全国の仲間から17春闘をたたかう決意表明がありました。「コープ商品の価格は全国で同じなのに賃金に差があるのはおかしい。最賃法改正で賃金底上げ、全国一律最賃制をめざす」（生協労連）「愛知県本部青年部アンケートで回答が多かった人員不足や不払い残業の一扫で公務職場をブラックにしない」（自治労連西尾市職）「3月9日はリレーストを構え、大幅賃上げをめざし、全国で2000人が決起する」

（JMITU）「民放193社2400人の社員に対し、東京5社の非正規だけで2500人。実数を把握し、非正規の処遇改善、組織化にとりくむ」（民放労連）「奨学金を借りている・いないが、正規・非正規の対立構図と似ている。教育を受ける権利の実現をめざす」（全労連青年部）と語られました。

集会の最後に、国民春闘共闘・森田稔代表幹事（東京春闘共闘代表）の団結ガンバローで閉会しました。

集会後、国会請願デモ、生協労連による「パートなめんな銀座パレード」と二つのコースに分かれてデモ行進を行いました。



STOP 暴走政治！ 守ろういのちと平和、そして憲法  
賃金底上げと雇用の安定、地場産業振興で地域の活性化